

い
ず
み
さ
の
教
育



問合先
学校教育課

子どもたちを教え育むために

教育委員会では、「授業・保育づくり」や「人間関係づくり」の取組や成果などを発表する場として、また、保護者や市民のみならずと教職員がともに研修できる場として「教育フォーラム」を、泉佐野市PTA連絡協議会と協働して毎年開催しています。

前半の部では、「授業・保育づくり研究グループ」の取組や児童生徒の交流活動について発表します。「授業・保育づくり研究グループ」では、市域全体に設定したテーマ「支えあい・学びあい・響きあい」を基に、各中学校区の課題に即したサブテーマを設け、グループでの学習活動を取り入れたり、発表の仕方を工夫したりするなど、「コミュニケーション力」を育むためのよりよい授業・保育づくりの研究を2年計画で進めています。今年は、その1年目で取組の中間発表を行います。

後半の部では、HEALホリスティック教育実践研究所の金 香百合所長による講演会を開催します。ホリスティックとは、「包括的」「全体的」という意味で、金さんは細分化された部分にとらわれるのではなく、全体の「つながり」「バランス」「関係性」を大切にする「ホリスティック教育」をすすめておられます。講演のテーマは、「子どもの自尊感情を高めよう」と親や教師にできること」です。自尊感情の重要性について丁寧にお話しいただき、また、親や教師に必要な3つの力（人間力・社会力・対話力）や子どもの育ちに必要なものについてもお話いただく予定です。ぜひ参加してください。

泉佐野市教育フォーラム

日時 12月24日(木)午後1時30分～

場所 エブノ泉の森小ホール

※手話通訳あり。一時保育（無料）は事前予約が必要です。学校教育課に問い合わせてください。

学校園紹介



楽しい経験を土台に心身とも健康な子ども達に
～さくらこども園～

平成26年4月に幼稚園と保育所が統合され「こども園」としてスタートして2年目、園庭にはシンボルツリーの立派な山桜の木があり、四季の移ろいを感じさせてくれます。



【めざすこども像】

明るく元気なこども・感性豊かにのびのびと表現できるこども・自分で考え意欲的に行動できるこども・友達を大切に仲間とともに伸びていくこども

【大切にしていること】

- 必要な生活習慣を身につけ健康に生きていく基礎を培う
- 身体を動かすことの心地よさ、喜びを感じられる活動を行う
- 聞くこと・話すことを大切にし、のびのびと表現する意欲や、豊かな感性を育む
- 大好きなひと・こと・ものに出会える環境を整える
- 異年齢との交流を計画し、憧れや思いやりの気持ちを育てる
- 健康でしなやかな身体づくりに取り組む

◆7月の5歳児宿泊保育では「カレーライス」作り、キャンプファイヤー、探検ごっこ、そして、みんなで一緒にお風呂にも入り、おはしゃぎのこども達！！とても有意義な体験でした。

◆8月の縁日ごっこ、夕涼み会では、先生や保護者がお店を出し、ヨーヨー釣りやもぐらたたきなどをし、ブラックシアター劇場で「はらぺこあおむし」のお話を楽しみました。

◆夏のプール遊びは初日に「水の精」が園に現れ「今年も、みんな元気でプール遊びを楽しめるように～」と、魔法の水をこども達にふりかけてくれました。



◆地域の子育て支援事業として「遊びの教室」「園庭開放」「施設開放」「0歳児育児教室」「行事開放」などを行っています。子育て中の親子が気軽に集える場として、利用していただきたいと思ひます。



当たり前を、当たり前！
～末広小学校～

末広小学校では、校訓「たくましく、心豊かに」のもと、「子どもの笑顔があふれる楽しい学校」づくりを教育目標に掲げ、子どもたちの実生活に生きて働く力＝「生きる力」を育成すべく、さまざまな活動を通して取組を展開しています。



末広小学校の名前「すえひろ」になぞらえ、

- す：「すこやかな体」をつくる子ども（健康・体力）
- え：「えがお」で生活できる子ども（安心・自信）
- ひろ：「ひろい心」で相手を思いやり、自分の考えを伝えられる子ども（豊かな人間性・問題解決力）

という育てたい子ども像を具体的に示し、教育活動を推進しています。

「生きる力」を構成する中核的要素である「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の三本柱を教育課程の中心に据え、それぞれ「言語活動の充実」「道徳教育・人権教育の推進」「体力づくり」など、全教職員が日々の実践の中で汗を流しています。

また、各家庭にも「家庭学習の充実」や「早寝・早起き・朝ごはん運動の推進」などの啓発と協力を呼びかけ、その充実を図っているところです。



今後とも、学校生活の中で必要とされる学習規律や生活ルールなど、子どもたちが当たり前でなければならないことの徹底を図るとともに、社会生活を送る上でぜひとも培ってほしいと考える「5つの心」についても定着させていきたいと考えています。